

# 森林環境譲与税の活用状況について

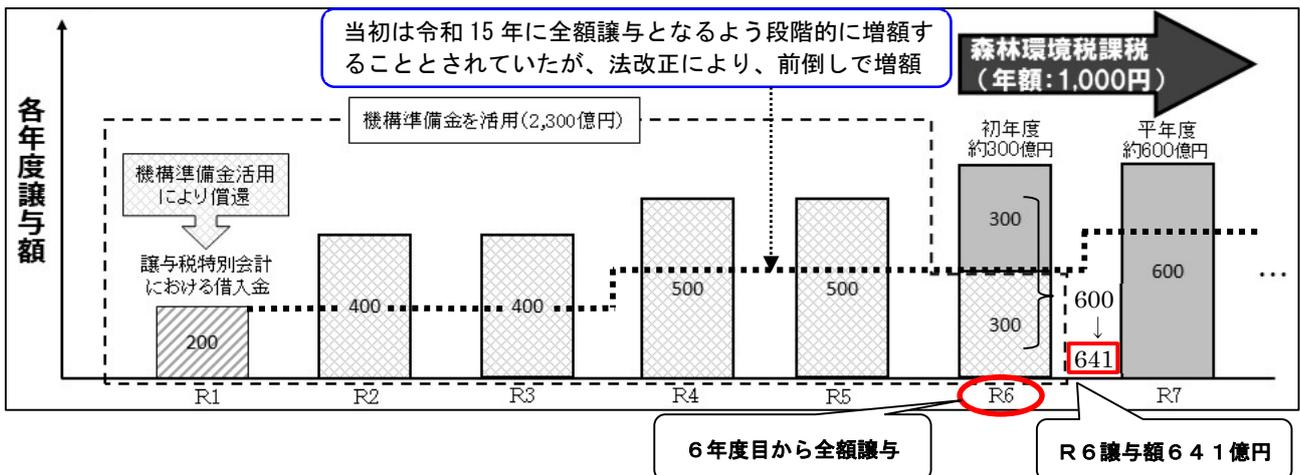
令和6年12月10日  
千葉県農林水産部森林課

## 1 森林環境譲与税

### (1) 経緯

- 国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止に向けて、市町村が実施する森林整備等に必要の財源を確保するため、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が制定され、令和元年度から、県、市町村への譲与が開始された。
- 令和元年の台風災害等を受け、森林の整備促進が喫緊の課題とされたことから、令和2年3月に同法が改正され譲与額が前倒しで増額されることとなった。
- 令和6年度税制改正により、これまでの譲与税の活用実績等を踏まえ、譲与税の譲与基準について、私有林人工林面積の譲与割合を100分の55（従前：10分の5）、人口の譲与割合を100分の25（従前：10分の3）に見直しが行われた。
- 令和6年度から、国税として1人年額1,000円の賦課徴収が開始。

### (2) 各年度の譲与額（全国）



### (3) 県及び県内市町村への配分実績額及び試算額（年額）

単位：千円

年度	R 1	R 2	R 3	R 4, 5	R 6 ~
県	77,946	116,920	117,693	120,216	114,710
市町村	311,750	662,519	666,913	881,560	1,032,372

【参考】 R 5 千葉県納税義務者数 3,340,510 人

( = 森林環境税想定納入額 3,340,510 千円/年)

実績額 ← 試算額

### (4) 使途

- 市町村：間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てる
- 都道府県：森林整備等を実施する市町村の支援等に関する費用に充てる  
(上記の範囲内において、幅広く弾力的に活用することが可能とされている)

## 2 市町村における活用状況

### (1) 市町村の森林環境譲与税の譲与額の実績及び計画

単位：千円

区分		R 1 実績		R 2 実績		R 3 実績		R 4 実績※1	
市町村	譲与額	311,750	100%	662,519	100%	666,913	100%	881,560	100%
	実績額	41,054	(13%)	137,865	(21%)	264,907	(40%)	479,838	(54%)
	積立額	270,696	(87%)	524,654	(79%)	402,006	(60%)	447,263	(51%)

区分		R 5 実績※1		R 6 計画※2	
市町村	譲与額	881,560	100%	1,032,372	100%
	実績・計画額	628,872	(71%)	1,725,015	(167%)※3
	積立額	347,000	(39%)	268,566	(26%)

※2 R 6 計画：県試算(想定)額  
 ※3 R 6 計画額は一部の市町で基金を取り崩しを計画しているため譲与額に対して100%を超える。

※1 R 4 実績及びR 5 実績は、一部の市町で基金を取り崩して執行したため実績と積立額の合計が譲与額を超える。

### (2) 用途区分別の取組市町村数

単位：市町村数

用途区分	森林整備	担い手育成	木材利用	普及啓発	その他 ※
R1(実績)	14	3	6	5	35
R2(実績)	24	3	12	6	23
R3(実績)	24	7	12	4	24
R4(実績)	34	10	16	12	9
R5(実績)	36	9	24	20	3
R6(計画)	41	15	23	20	1

※ その他：基金積立、森林クラウド利用料のみ。

※ 複数の用途に使用する市町村があるため、合計値は市町村数と整合しない。

### (3) 市町村の取組事例

#### 森林整備 千葉県佐倉市（森林環境整備）

- ▶ 佐倉市では、令和元年の台風15・19号の影響により、森林の風倒木や土砂崩れによる大規模停電、交通網の遮断といった甚大な被害を被ったことから、今後、同様の被害が発生しないよう、災害に強い森林づくりが課題となっている。
- ▶ このため、風倒被害が発生する可能性の高い森林の状況を把握するとともに、災害に強い森林となるような整備を進めていく取り組みを実施。

#### 事業内容

##### 災害に強い森林整備

令和4年度に作成した「森林環境状況調査報告書」に記載されている15ヶ所の森林のうち、最も森林整備の重要度の高い森林の環境整備を実施する。

【事業費】9,845千円（うち譲与税9,845千円）

【実績】市内南部地域にある高崎区の森林約1haの追跡調査（地権者同意）及び森林環境整備を実施した。

#### 取組の背景

- 令和元年の大型台風（強風）により、主要幹線道路沿いにある森林の風倒木による電線の切断（大規模停電）や、道路が遮断される被害が発生し、市民の方々の日常生活に支障を及ぼした。
- 大型台風等による被害を繰り返さないよう、森林の状況把握や風倒の危険性の高い森林の整備を行う。



(整備前)



(整備後)



(看板設置)

#### 工夫・留意した点

- 市には、林務専門職員がいないため、千葉県森林経営管理協議会や千葉県森林組合等と相談のうえ、仕様書や設計書の作成、伐採区域等を選定した。
- 森林所有者からの同意（伐採木の所有権放棄含む）を得るため、戸別訪問等を実施した。
- 伐採後は、景観に配慮したヤマアジサイや低木のコナラを植栽し、風倒被害の再発防止に努めた。

#### 取組の効果

- インフラ施設周辺の森林整備を実施することで、台風等の自然災害による倒木による交通障害等被害の未然防止が図られるとともに、事業PR効果により未整備森林の解消が図られる。
- 地域住民等に対し、森林環境譲与税を活用した森林整備である旨を明示した看板を設置したことにより、森林整備の必要性等の関心が深まる。

#### 基礎データ

①令和5年度譲与額：20,180千円	②私有林人工林面積（※1）：623ha
③林野率（※1）：18.1%	④人口（※2）：168,743人
	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 山武市では、サンブスギの非赤枯性溝腐病の蔓延や令和元年房総半島台風以降、特に森林整備が課題となっている。
- 林政アドバイザー制度を活用して森林づくり審議会の運営支援や市有林の検討などを実施した。

### □ 事業内容

#### 林政アドバイザーの業務委託

- ・ 山武市森林づくりマスタープランの運用支援。
- ・ 審議会等の運営支援
- ・ 市有林の運営検討支援。

【事業費】5,069千円（全額譲与税）

【実績】審議会等 計4回  
森林相談会 1回  
市有林の現地踏査 4回

### □ 取組の背景

令和元年房総半島台風で森林に大きな被害が生じ、長期間の停電の原因になるなど森林に対する市民の関心が高まった。

令和3年に山武市森林づくり審議会を設置し、令和4年度に山武市森林づくりマスタープランを策定した。



（審議会の開催）



（市有林の現地踏査）



（森林相談会）

### □ 工夫・留意した点

山武市の森林関係団体の方で構成する森林づくり審議会や地域で実際に林業に従事する方を中心とする森林整備部会、木材利用推進部会では、歴史的背景や現状を説明し、マスタープランの運用支援を行った。

### □ 取組の効果

地域の実情を反映した山武市森林づくりマスタープランが完成して、山武市の森林を6つの区分に分けて管理する方策が示された。

私有林での具体的な運用については課題が多いため、現状では市有林でモデルを作り運用することを目指し、ゾーニングを検討している。

森林相談会は、予約、当日を含めて相談を受け付けており、森林管理方法に関する相談を中心に対応した。相談者に林業事業者を紹介することで、実際に森林整備に繋がった事例もある。

### ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：15,686千円	②私有林人工林面積（※1）：2,744ha
③林野率（※1）：26.9%	④人口（※2）：48,444人
	⑤林業就業者数（※2）：14人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 流山市では、公共建築物における県産材や国産材の利用に努め、木材利用の促進を図っていく方針。
- 小学校整備に伴い千葉県産の木材を使用し県内の木材産業の活性化に貢献し、子どもたちへの社会学習の材料としての活用を目指す。

### □ 事業内容

#### おおぐろの森小学校建設

- ・ 小学校建設にあたり「高台の緑に溶け込む 森の中の木の学び舎」をコンセプトに、木造化を進めるとともに、内装を木質化し、周辺の自然環境と調和したおおぐろの森小学校を建設。

【事業費】7,000,693千円（うち譲与税172,130千円（予定））  
（譲与税は、木工事に係る部分の市債元金償還に充当）

【実績】おおぐろの森小学校（木材利用量：2,429㎡）

- ・ 校舎内には、使用されている木材の種類や産地などを説明したパネルや見本を掲示し、児童が木材に関する情報を学ぶことができる。

### □ 取組の背景

- ・ 流山市は、つくばエクスプレスの開通に伴い、流山おおたかの森駅周辺で土地区画整理事業を施行し、それに伴う大型マンションや戸建住宅の建設により、児童数が増加している。流山市立おおぐろの森小学校は、増加する児童数に対応するため、自然豊かな大畔地区の特性を生かし、「高台の緑に溶け込む 森の中の木の学び舎」をコンセプトとして整備を進めてきた。



（外観 建物全体）



（内観 体育館）



（内観 普通教室）

### □ 工夫・留意した点

- ・ 普通教室の内装には木材を利用。木材は、やわらかで温かみのある感触、調湿機能などの優れた性質を持っており、施設の木質化は豊かな教育環境づくりを行う上で大きな効果が期待できる。
- ・ 県産スギ調達のため、流山市・設計事務所と千葉県農林水産部・森林組合で事前に打ち合わせを行い、地域材供給の取り組み体制を構築。強度の必要な部分は姉妹都市の長野県信濃町産カラマツをLVL（単板積層材）に加工して利用。

### □ 取組の効果

- ・ コンセプトにある「森の中の木の学び舎」を表すような季節の変化に富んだ色とりどりの緑が、登校する児童を温かく迎えている。
- ・ 県産スギや姉妹都市である長野県信濃町産のカラマツを利用し、国内最大規模となる3階建ての木造校舎の建設を実現した。
- ・ 教職員からは、断熱性能があり、木のぬくもりや風の流れる感じるといった声が聞かれており、児童が身近に木に触れることができる環境となっている。

### ◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：20,988千円	②私有林人工林面積（※1）：27ha
③林野率（※1）：7.3%	④人口（※2）：199,849人
	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

### 3 県における活用状況

#### (1) 令和6年度 森林環境譲与税を活用した施策一覧

区分	事業名	事業内容
森林計画	森林情報管理	森林クラウド(森林情報を市町村等関係機関とリアルタイムで共有するためのシステム)で森林情報を一体的に管理する。また、森林クラウド機能を改良・拡充することにより、正確な森林情報の収集と現場業務の効率化を図る
森林整備	ちばの森林づくり総合対策事業	森林環境譲与税を活用した市町村主体の森林整備を推進する上で課題となっている、専門知識や経験が必要な市町村支援を、千葉県森林経営管理協議会の事務局である千葉県森林組合連合会に対して委託
木材利用の促進	ちばの木の香る街づくり推進事業	県民の生活空間への木材利用を一層進めるため、公共建築物等の多くの県民の目に触れる展示効果の高い施設における内装の木質化や木製品の導入経費に対し助成
	千葉県木材利用ネットワークによる事業者連携の推進	県産木材の利用に取り組む事業者等により組織される「千葉県木材利用ネットワーク」が行う展示商談会への出展等の活動を通じて、消費者の県産木材の選択的な利用を促すとともに、生産から消費までの県産木材のサプライチェーンの構築を促す
	マテバシイ材利用拡大事業	マテバシイ材の利用上の課題となっている乾燥に伴う割れなどの発生を抑えるため、丸太の熱処理技術を開発するための調査研究を行う
	県産木材の普及啓発(木育の推進)	千葉県の森林・木材に対する子どもから大人までの全ての県民の理解を促進するため、木育活動の企画ができる人材の育成や県産木材製の遊具の貸出制度を整備する。また、次代を担う子供たちが木材に触れる機会に対する支援として、木工作品展の開催支援や木工出前授業を実施(木育指導者養成研修の実施、県産木材製の遊具貸出制度、木工作品展の開催支援、木工出前授業の実施)
県民参加の森づくり	「県民参加の森づくり」ネットワーク支援事業	里山活動ボランティアや森林環境教育といった「県民参加の森づくり」を促進するため、県域で指導的活動を実施している団体のネットワーク化を支援するとともに、ネットワークを活用し、森林環境教等の実施に向けた市町村支援を行う
里山の保全、整備及び活用の促進	多様な主体による里山整備活動促進事業	地域住民や、森林所有者等の多様な主体の里山活動への参画や協働を促進するとともに、地域の里山活動団体の支援等の業務を行う

## (2) 森林環境譲与税を活用した県の取組事例

### ア ちばの森林づくり総合対策事業（R6新規）

#### (7) 事業の目的・概要

森林環境譲与税を活用した市町村主体の森林整備を推進する上で課題となっている、専門知識や経験が必要な市町村支援を、千葉県森林経営管理協議会の事務局である千葉県森林組合連合会に対して委託

#### (4) 主な事業内容

##### ① 総合相談窓口

市町村が森林環境譲与税を活用して実施する施策の支援のため、総合相談窓口の設置や個別訪問による相談対応及び森林整備の方針提案等を実施

【実績】（第二四半期まで）

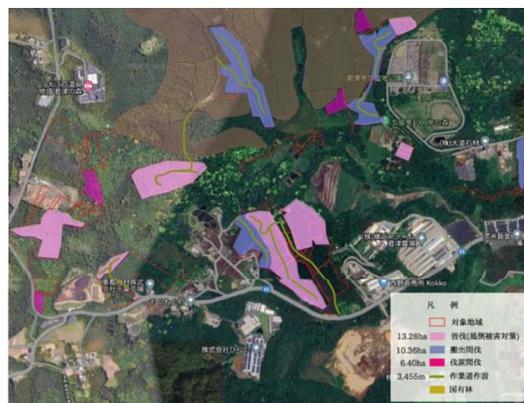
- ・総合相談窓口 87 件  
（内訳：森林整備 46 件、木材利用 9 件、普及啓発 4 件、譲与税使途 15 件、その他 13 件）
- ・個別訪問 51 件

##### ② 実行計画案作成

市町村の森林整備の方針に基づき、現地調査等を行い、森林整備を実施するための具体的な計画案を作成

【作成予定】

木更津市、袖ヶ浦市、御宿町、大多喜町



##### ③ 市町村間の広域連携支援

都市部と森林地域の市町村が連携して森林整備に取り組むための仕組みづくりや合意形成を実施

【協定締結実績】

令和3年度から「森林整備広域連携モデル事業」を実施し、次の協定を締結

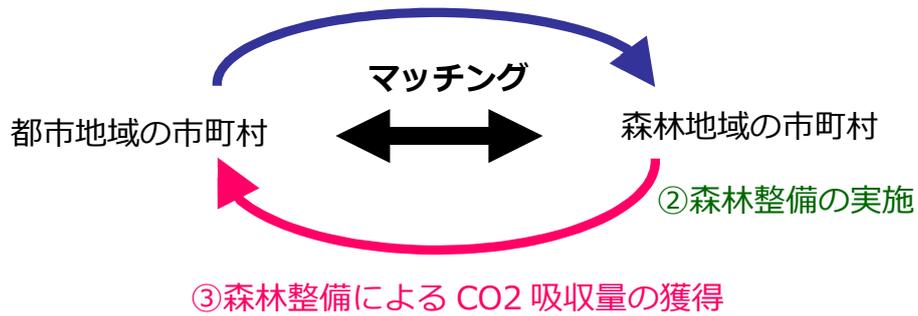
- ・令和4年3月 浦安市と山武市
- ・令和5年3月 習志野市と南房総市
- ・令和5年8月 市川市と一宮町

【今後の予定】

モデル事業の成果を活用し、本事業で協定締結を支援

- ・令和6年12月 1組（協定予定）

①森林環境譲与税で森林整備の費用を負担



#### ④ 研修会の企画運営

森林整備及び森林整備の促進に関する施策に対する理解を促すため研修を開催

##### 【研修内容】

年間4テーマ（森林整備基礎、森林整備応用、森林整備現地実習、木材利用・普及啓発）

## イ 県民参加の森づくりネットワーク支援事業（R6 新規）

### (ア) 事業の目的

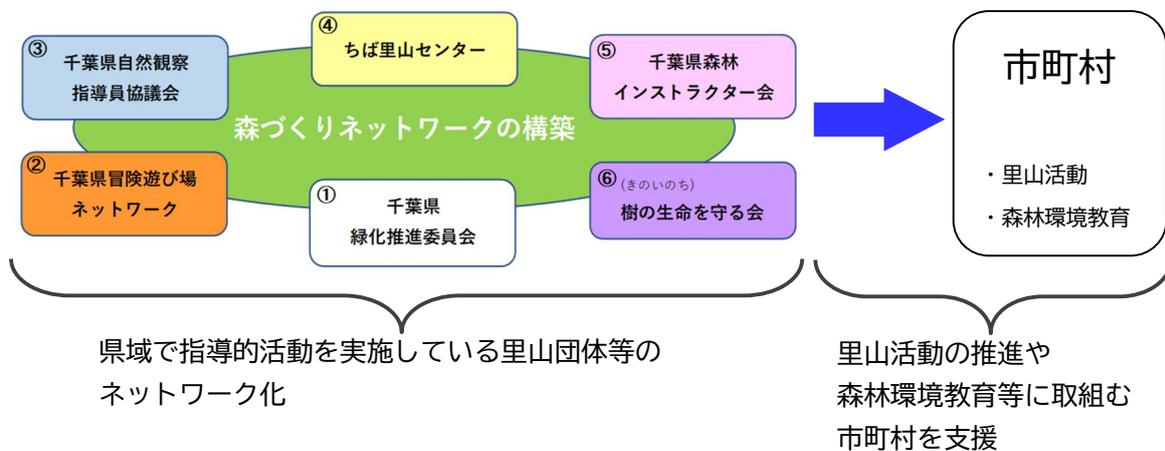
里山活動や森林環境教育等の「県民参加の森づくり」を促進

#### 事業の狙いは以下の2つ

- (1) 森林・里山の保全のために、住民・企業・市民活動団体等の力を活用する
- (2) 子供達の自発性や生きる力を育み、親世代の理解促進・活動参加に繋げる

### (イ) 主な事業内容

県域で指導的活動を実施している団体のネットワーク化を支援するとともに、ネットワークを活用し、森林環境教育等の実施に向けた市町村支援を行う。



#### ① ネットワークの構築

指導的活動実施団体の合意形成を図り、ネットワークの組織化を行う

#### ② ネットワーク参加団体の連携強化・指導技術向上

森林環境教育・自然環境保育の専門家を招いての指導技術向上研修会の開催

#### ③ 森林環境教育支援

教育機関向けの森林環境教育研修の実施  
フィールドの現況調査と活用促進の企画検討

#### ④ 市町村支援

市町村向けに里山活動支援に関する研修会を開催  
里山活動支援等に取り組む市町村の支援



(教育機関向けの研修)